

3 エビ資源量調査

本調査は漁業センサスの一環として前回に引き続き美里村泡瀬沿岸に棲息するエビ類の棲息量及び資源量、体長組成、出現頻度等を調査実施したものである。

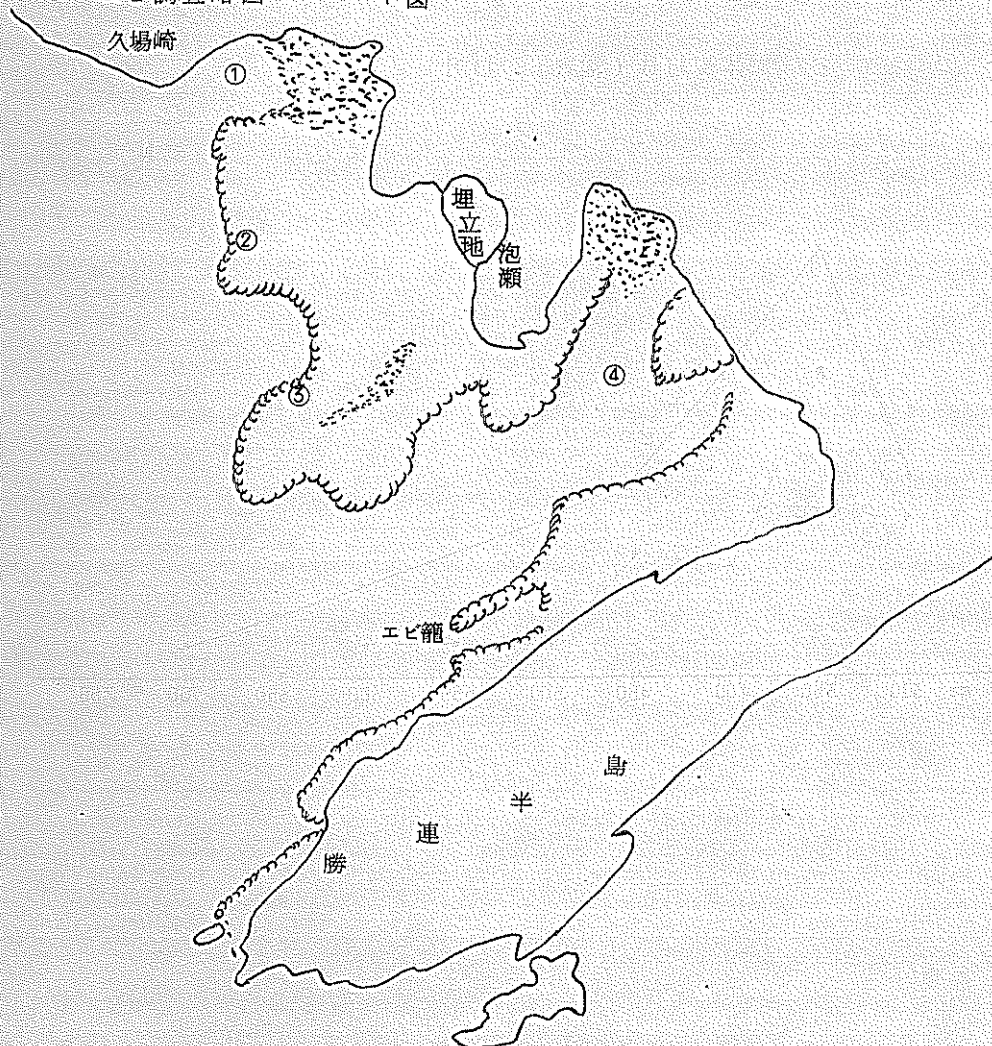
調査方法 列舟2隻を備船してエビ取網を装付け前回実施した調査STATION(図1)で約10分間曳網してエビを採捕した。採捕したエビは標本個定し、体長測定した。

調査期日 1967年11月8日～同年同月11日

調査結果 STATION1-4まで採捕した個体数は6月に採捕した個体数より比較的少なかった。また、体長組成からみてもく(前回は40mm～45mmがピークを示したが)35mmのピークをみた。(図2)STATION1～3まで個体数及び体長組成は小でSTATION4に出現頻度及び体長組成は集中した。なお、ホワイトビーチと泡瀬の中間位置でエビ籠を投入してみたが採捕できなかった。

担当 新里喜信 兼浜安信

エビ調査略図 1 図



	水 温 (°C)	比 重	塩 素 量	プランクトン
STATION 1	24.8	26.0	19.25	CapePodoc-
" 2	25.4	26.0	19.11	Cherotum
" 3	25.4	25.0	19.25	"
" 4	25.2	27.0	19.15	"

